

議会報告

2021年4月発行

第146号

# 日立市議会だより

日立労組日立国支部

日立市議員団

●一口メモ●  
市報に関する意識調査

項目	H20	R2
情報入手	75.4%が市報(H30)	
配布率	90.34%	71.59%



ためしてハニカム



サイエンススタジオ



竜巻発生装置



ロボット画伯「アートン」

全面リニューアルしたシビックセンター科学館（記事は3面参照）

3月議会

## 新型コロナ危機脱却と若者・女性支援など3重点施策を推進 — 「全ては市民のために」の理念に基づく予算編成 —

令和3年第1回定例議会は3月3日から3月19日まで17日間の日程で開催しました。上程された議案は、令和3年度一般・特別会計予算、令和2年度一般会計補正予算、条例改正、契約案件など40件です。各委員会で慎重審議の結果、いずれも原案を可決または承認しました。主な議案、請願・陳情の概要は下記のとおりです。

### ■予算の概要

令和3年度の歳入は、市税は前年度比21.4億円（7.8%減）で、個人市民税は納税義務者および平均所得の減少により10.1億円の減、法人市民税は税制改正や事業収益の減などにより6億円の減としました。また、基金繰入れを92.7億円、市債は77.4億円を計上しました。主な事業概要は2面に掲載します。

歳入・歳出予算（金額：百万円）

会計名	本年度	前年度	伸率(%)	
一般会計	72,705	73,147	△0.6	
特別会計	国民健康保険	14,328	14,472	△1.0
	介護保険	17,391	16,871	3.1
	介護サービス	1,828	713	156.3
	戸別合併処理	24	24	△0.7
	後期高齢者医療	3,355	3,034	10.6
	水道	5,626	6,280	△10.4
	下水道	6,118	6,468	△5.4
	小計	48,670	47,862	1.7
合計	121,375	121,009	0.3	

### ■条例改正の主なもの

#### ★日立市学校設置条例の一部改正

高鈴、水木幼稚園を廃止する。

#### ★奨学金貸付条例の一部改正

対象者に、本市に1年以上居住する40歳未満の市民を加え、給付型奨学金との併給を認めるなど要件を改める。

### ■契約案件

#### ★久慈サンピア日立改修事業（建築・電気・機械工事）

完成は令和4年3月15日<16億3,900万円>

### ■人事案件

★日立市人権擁護委員選任の同意 大内 康平氏（再任）  
佐々木 早苗氏（新任）

### ■請願・陳情

★採択 南部地区へのスポーツ広場等整備に関する陳情

★不採択 最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書採択の請願

★継続 新産業廃棄物最終処分場候補地を撤回し、自然環境、生活環境、道路交通の安全を守ることを求める請願ほか、産廃最終処分場に関する2件

# 令和3年度一般会計予算の中から

— 主な新規事業の概要 —

## ～住みやすさを求めて～

### 移住促進事業 (21,347k¥)

市内でテレワークをする方に、クラウドファンディングにより、利用促進を図るほか、移住支援金(最大100万円)を支給



移住サイト

### 防災体制整備事業 (872,183k¥)

非常用持出袋を全世帯へ配布するほか、洪水避難タワーの設置、災害時一斉情報発信システムの整備



非常用持出袋の例

## 福祉・教育は日立市で！！

### 生きがいづくりチャレンジ応援事業 (1,099k¥)

資格取得にかかる講座費用、検定費用等の助成

### 高齢者はじめてICT推進事業 (1,352k¥)

高齢者向けのスマートフォン・タブレット教室を開催

### 地域医療体制確保事業 (682,761k¥)

地域周産期母子医療センター運営費、小児科医確保（以上日立総合病院）、医療機器整備（日鉦記念病院）の補助



医療充実を図る日立総合病院

### 情報教育事業 (13,000k¥)

児童生徒に1人1台のタブレットを配置するにあたり、専門的知識を有するICT支援員を配置

### 電子書籍貸出サービス事業 (9,966k¥)

新しい生活様式に対応するため、インターネットを通じた非来館型の図書貸出サービス

## 活力とにぎわいのあるまちへ♪

### 創業支援事業 (35,045k¥)

空き店舗や空きビルを活用し、「街なかマイクロクリエイションオフィス・大みか」を整備

### 商店街活性化事業 (53,058k¥)

ひたちBRT各停留所から500m以内への出店補助、移動販売車の導入補助(最大100万円)のほか、商店会への加入促進加算



キッチンカー

### 買い物代行支援事業 (20,000k¥)

スーパー事業者と連携し、買い物代行サービスをおこなうタクシー会社へ補助

### 日立アルプス活用事業 (28,931k¥)

ハイキングコースの測量、トイレ設置、登山者カウンター導入など



眺望の改善

## ♡安心感のある都市基盤づくり

### 市道3509号線改築事業 (120,446k¥)

日製正門前～会瀬小脇の道路を直線的に接続するための改築工事、および物件移転補償



会瀬小側より望む

### 公共交通政策検討事業 (16,095k¥)

グリーンスローモビリティ(グリスロ)活用の検証(金沢団地)



グリスロの例

### 空き家活用事業 (16,092k¥)

空き家活用の際の隣地統合補助(50万円)、空き家解体助成(跡地活用あり:50万円、なし:30万円)

## 「スポーツのまち日立市」をめざして

— 会瀬、池の川スポーツ施設の整備促進 —

昨年策定した「日立市スポーツ施設整備計画」に基づき、市民運動公園と一体的に、市民がスポーツを楽しめる施設を整備します。現在の(株)日立製作所会瀬グラウンドを市が借り上げ、人工芝生上でラグビーやサッカーなどができる施設に改修します。供用開始は令和5年度の予定です。

また、池の川さくらアリーナへ大型映像装置2台を令和4年2月に設置するとともに、陸上競技場屋外トイレを公園内のランニング・ジョギング利用者が外から利用できるよう、本年11月までに整備します。さらに野球場の外野スタンドの拡張や照明等の改修についても、計画を立てて進めることとします。

本市は県内でもスポーツの盛んなまちとして、アピールをしてまいります。



人工芝生化される会瀬グラウンド

## 「コミュニティ活動の在り方」提言書を提出

— これからの時代に合ったコミュニティ活動へ —

市内では現在、23のコミュニティが地域の課題解決などを目的に、まちづくりの中心的な役割を担っています。

一方で、自治会・町内会の解散、退会や未組織化により加入率が低下し、地域福祉や自主防災など、多様化する地域課題に対し、担い手の確保が求められています。

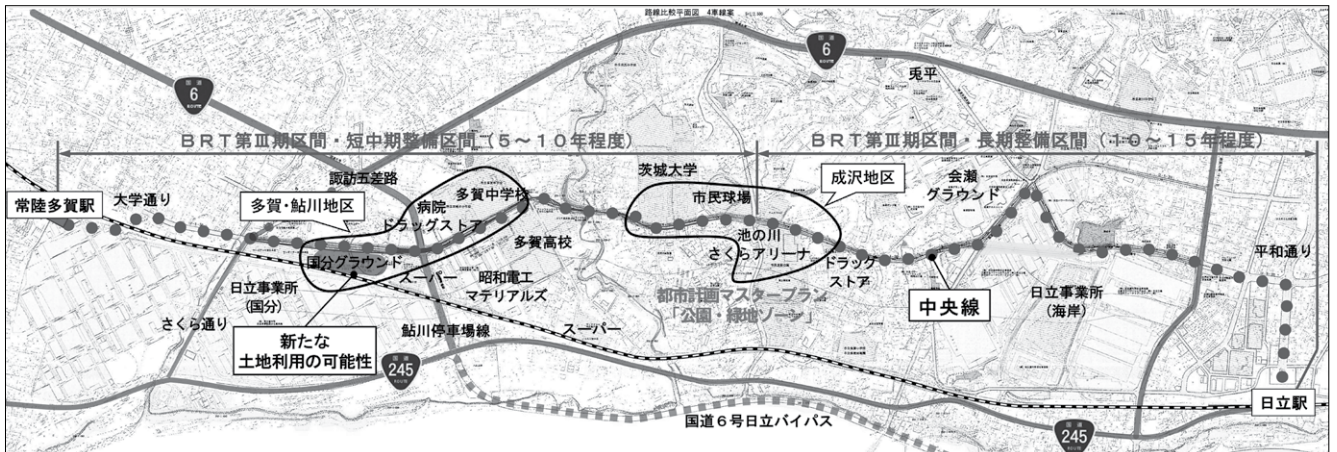
これらの課題解決に向けて、これからの時代に合った新しいコミュニティ活動の調査・検討と、市長に対して提言をおこなうため、令和2年1月に第2次コミュニティ活動の在り方検討委員会が設置され、議論が続けられました。

この度、提言書がまとめられ3月26日、市長に提出されました。この提言を基に取組を実践し、世代を超えた人と人のつながりや支え合いのまちの実現をめざしていきます。



会瀬交流センター

# 常陸多賀駅周辺の新たな道路ネットワーク ひたちBRT第Ⅲ期区間(常陸多賀駅～日立駅)中央線ルート案を検討



BRT第Ⅲ期区間(多賀駅～日立駅)ルート(案)



多賀駅周辺交通量推計(10年後)

ひたちBRT第Ⅲ期区間となる常陸多賀駅から日立駅間ルート(上図参照)は、BRT利用者の需要見込み、現行バス路線との統合など、効率的な再編が可能と考えられる中央線ルートを基本に検討を進めることとしました。

中央線の運行にあたっては、専用レーンのあり方を検討しBRTの定時性・速達性を確保します。また、旧河原子駅から常陸多賀駅(東口)までの区間は、駅周辺の道路ネットワークに駅への南北アクセス道路および河原子海岸アクセス道路(左図参照)を整備することにより、渋滞解消を図り定時性を確保します。さらに、多賀・鮎川地区の新たな土地利用や成沢地区の中間ターミナル設置を検討し、利便性向上を図ります。

## シビックセンター科学館「サクリエ」がオープン ～何度でも楽しめる科学館としてリニューアル～

昨年からの科学館リニューアル工事もいよいよ竣工となり、4月17日(土)、待望のオープンとなりました。

リニューアル後の愛称は「サクリエ」とし、サイエンス、クリエイション、アトリエなどに加え市の花であるサクラを想起させる、小さな子どもでも呼びやすい名称です。

体験型展示を中心に、ものづくりや豊かな自然など、ひたちらしい展示物とし、大人も子どもも楽しめるよう内容の高度化を図っています。

### 【入館料】

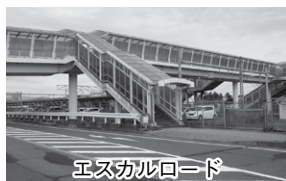
入館者数増加につなげるため入館料を減額し、令和5年度に、入館者数20万人をめざします。

券種	大人	小・中・高校生 高齢者
科学館	500円	200円
天球劇場	500円	200円
科学館・天球劇場 セット券	750円	300円
障がい者	無料	無料

## 継続的な要望活動で実現 エスカルロード臨時改札口営業時間延長へ

JR日立駅のエスカルロード臨時改札口における営業時間延長について、JR東日本に対し、これまで継続的に要望活動をおこなってきました。

この活動が実を結び、4月1日から、自動改札口の営業時間が午後7時まで延長されることになりました。今後も更なる利便性向上や老朽化対策等、積極的な働きかけをおこないます。



エスカルロード

## キャッシュレス決済の導入を促進 デジタル行政の深化にむけて

令和元年7月から電子マネーによる、市民課、支所等の窓口や観光施設等の20カ所において、手数料や使用料の支払い簡素化を進めてきました。また令和2年9月からは観光施設等の11カ所でクレジットカード払いができるようになり、本年7月以降には、市民運動公園、かみすわ山荘、会瀬青少年の家の3施設が加わります。

さらに、本年4月1日からは、市県民税や国民・介護保険料、上下水道料金などをスマートフォン決済アプリ(PayPay、LINE Payなど)で支払いが可能になります。

## マル福制度の更なる拡充へ 子育て世代を応援

本市では「切れ目のない子育て支援」の一環として、18歳以下の子どもおよび母子・父子家庭の親が、必要な保険診療を受けられるよう、マル福制度の拡充をおこないます。

現行、18歳以下の外来自己負担金(600円/回)を助成します。また、母子・父子家庭の所得制限を撤廃します。「子育ては日立市で」をスローガンに、経済的負担の軽減とより一層の健康増進で、若い世代の定住を図ります。



交流や外出のきっかけとなったグリーンスロモ実証実験中の待合所

一般質問の中から

## 高齢者の外出支援、アフターコロナを見据えた市民の健康維持について

### 議会の質問と提言

今回は助川議員が質問しました。

#### ■高齢者の外出支援について

(質問) グリーンスローモビリティを活用した交通弱者対策は高齢者の外出支援として有効であり、実用化を推進し他の山側住宅団地へも展開するべきではないか。

(答弁) グリーンスローモビリティは、電動で環境への負荷が少なく、狭い路地でも通行可能な、低速小型モビリティで、高齢者の足の確保や観光客の周遊への活用が期待される次世代の新しい移動手段である。

令和3年度は、昨年の金沢団地での試験運行を踏まえ、改めて、グリーンスローモビリティ運行で、地域住民の移動需要を満たせるかについて検証していく予定である。

そのうえで、運賃を含めた収入確保策等についても併せて検討し、地元を主体とした安定した運営体制の構築が図れるよう進めていく。

(質問) 乗合タクシーや路線バスの利用促進にもつながる交通結節点と交流機能も兼ね備えたグリーンスローモビリティの待合環境整備が必要と考えるが見解は。

(答弁) 金沢団地で実施したグリーンスローモビリティの試験運行においても、交通結節点となった集会所前や隣接する商業施設内に休憩所を兼ねて設置したグリーンスローモビリティ紹介コーナーにおいて、利用者同士や団地住民との間で多くの交流が生まれ、その後の利用者アンケート

では、人との会話が楽しく、コミュニティの活性化につながったとの意見が多く寄せられた。

今回の試験運行においては、新たな交通結節点の設定なども検討する予定としており、例えば、店舗等の施設内にも場所を提供していただくことや、椅子やテーブルを設置することなどにより、利用者同士が会話を楽しみ、待ち時間を快適に過ごせるような環境づくりに努める。

(質問) 次世代移動サービス「Ma a S」など、これからの公共交通にはスマートフォンが欠かせないが、代替手段としてケーブルテレビを活用することはできないか。

(答弁) Ma a Sによる一体的な公共交通サービスについては、公共交通の利用環境を大きく向上させる反面、スマートフォンを持たない方や不慣れな方へのサービス提供が課題であると認識している。

当面は、電話などでの代替サービスを並行し、議員提案のケーブルテレビの活用については、市内におけるケーブルテレビの加入者や加入率の状況を踏まえつつ、交通事業者などと連携しながら、活用策について検討していく。

#### ■アフターコロナを見据えた市民の健康維持について

(質問) 施設の休館など、心身の健康維持に大きく影響したが、アフターコロナを見据えた施設開放基準とコミュニケーション環境づくりについて、見解を伺う。

(答弁) 市有施設の運営にあたっては、県独自の緊急事態宣言や、その解除の基準となる指標を当市の状況に照らし合わせ、対策本部において決定してきた。

今後も、感染状況や県の基準等を踏まえながら対応するとともに、施設の休館や再開の考え方、判断の状況等については、市民が見通しを持てるよう、市ホームページ等で分かりやすい情報提供に努めていく。

また、アフターコロナにおける健康づくり事業については、これまでの経験を踏まえ、感染拡大リスクを可能な限り減らした体制での事業展開に努める。さらに、高齢者については、ケーブルテレビ等の更なる活用や、オンラインによる介護予防、健康づくり事業などに参加できるようサポートし、ICTの活用によるコミュニケーションが積極的に図れる環境づくりに取り組んでいく。



衆議院議員  
浅野 さとし

新しい力で  
未来を拓く



茨城県議会議員  
高安 博明

魅力ある  
活気あふれる  
まちづくり



日上市議会議員  
青木 俊一(5期)

日上市東成沢町3-7-7  
TEL 35-6909  
監査委員  
総務産業常任委員会



日上市議会議員  
助川 悟(1期)

日上市会瀬町1-7-5  
TEL 33-0615(事務所)  
環境建設常任委員会  
広報広聴委員会

議会だよりは二人で編集しています。ご意見をお寄せ下さい。